



# ルーテル学院大学 日本ルーテル神学校 後援会

## News

(146)

2022年6月1日  
発行  
ルーテル学院大学  
日本ルーテル神学校  
後援会  
編集  
推進委員会  
http://www.luther.ac.jp/  
〒181-0015  
東京都三鷹市大沢3-10-20  
TEL:0422-31-4611  
FAX:0422-33-6405

## 尊い献金に感謝

日本ルーテル神学校 校長 立山 忠浩



昨年度もルーテル学院に尊い献金をお寄せくださり、心より感謝申し上げます。

募金と献金の違いは何かと考えることがあります。大した違いはないとも言えるでしょう。いただいたお金のそのもの、目標額に届いたのかどうかということではどちらも同じです。でも、やはり違いがあるように私には思えます。募金とは「お金を募る」ことです。募金を呼びかける側から見た言い方になります。後援会は毎年「募金」目標額を決めています。後援会が募るから「募金」となるのです。では献金はどうでしょうか。「お金を献げる」という意味ですから、お金を献げる側の表現になります。お金を献げてくださ

る方々の思いを大切にするという意味にもつながるように思います。

後援会は二五〇〇万円の募金目標額を毎年掲げています。ここ数年間は、目標額に届いていませんが、厳しい世情の中で二〇〇〇万円ほどが毎年寄せられていくことは実に驚くべきことであり、感謝すべきことです。そして送金して下さる方々の思いを私は想像するのです。

旧約聖書に「感謝の献げ物をささげます」(詩編五六・一三)という言葉があります。献げ物には感謝の思いが込められているのです。これと同じで、献金には様々な思いが込められているのであろうと思います。福祉、心理、神学教育への期待。専門教育を受けた学生たちが世に仕え、隣人に奉仕し、神と

教会に仕えることを通して、社会に貢献して欲しいとの願いがあることでしょうか。献金にはこのような願いと、思いがたくさん込められていることを覚えておいてください。背負いきれない過度な期待には萎縮してしまいがちですが、励みとなる期待は学生にとっても教職員にとっても有益なものに違いありません。

新型コロナウイルスに二年間翻弄されてきましたが、今度はロシアのウクライナ侵攻という実に悲劇的で理不尽な事態が起こっています。これまで考えもしなかったことが起こり、心を痛めながらもどう考え、何をなし得るのか戸惑う毎日です。米国の神学者が「変えるべきものを変える勇気を、そして、変えられないものと変えるべきものを区別する賢さを与えてください」(R・ニーバー)という有名な祈りを残しました。新年度を迎え、本当の賢さを見つけ出すための歩みが始まっています。本年も皆様のお祈りとお支えをお願いいたします。



篤い祈りと  
尊い献金に支えられて

2022年度は66名の大学生と3名の神学校生を新たに迎えました

2021年度は約1,800万円の献金をいただき、教育施設・備品の拡充整備、図書・教材の購入、奨学金、障がい学生へのサポート、神学校教育のために用いさせていただきました。

後援会は皆様のお支えに心から感謝します。  
今年度も目標額2,500万円達成をめざして活動を進めてまいります。

ルーテル学院大学 後援会  
ルーテル学院大学 日本ルーテル神学校

## 献金ありがとうございます!

2021年度は皆さまから  
18,079,756円もの献金を頂きました。

学生寮の改修、教室照明を蛍光灯からLEDへ変更、奨学金や図書の購入、障がい学生サポートなどに大切に活用されました。

今年度も後援会は募金目標額を2,500万円とし、「神と世に仕える人材を育成する」ルーテル学院の発展のために活動いたします。

## 後援会を 応援します!!

### 「献身者ファンド」による支援



日本ルーテル教団  
大塚ルーテル教会  
牧師 白井 真樹

私たち日本ルーテル教団北海道地区は「献身者ファンド」を実施して、その取り組みによって後援会活動に参加しています。これは、当初、北海道地区のそれぞれの教会に通う一人ひとり

## 良き知らせを 伝える者の足は

日本福音ルーテル三鷹教会 市田 邦二



もう三年にもわたる  
コロナ禍に世界中が呻  
吟する中、教会も例外  
ではなく新しい宣教方  
策への変更を迫られており、信徒の交  
わりがとて大切な教会活動に困難さ  
を来しています。それに輪をかける  
かの様に、二月末からウクライナで起  
こっている悲劇は「平和を造る人々  
は、幸いである」とのみ言に私達も  
一度覚醒する様にと強く促されてい  
るのではないのでしょうか。

人類が犯し続けてきたこの様な悪行の為にキリストがそのお体によって尊い贖罪を遂げてくださったと知らされている今の時代も、こうした国家間の不信と増悪はとどまるところがありません。このような悲しみに満ちた世界の中で私達の心は騒ぎ立ちます。そうであつてもしかし私達キリスト者は神がこの世の裁きを行われる終末の時が来ると確信して時を過ごすのです。しかもキリストがこの世で為されて来たこの行為は、実は大事な隅の親石のご行為であったのです。それ故に悪がどんなに世に満ちて私達を脅すとしても、最後には私達の市民権は天に在るのですから、その為にこの世で生きる間は愛を基盤にした教会共同体に参加する様にと教えられ

が神さまと教会に仕えて働く献身者が与えられることを願い、祈りを込めて毎月ほんの少しずつでも、神学教育と学生さんの奨学金のために捧げようとの趣旨から始まりました。近年では、みなさんそれぞれの生活が厳しくなってきた中で、それでもなお最初の志を大切にしつつ、教会としてその年間予算からファンドに参加するケースも多いうです。

現在、私たち北海道地区の札幌中央教会から佐藤孝洋さんが神学生候補としてルーテル学院大学で学んでいます。

ています。ですからその愛に留まり続ける私達の信仰は強まりこそすれ、決して弱体化することはないのです。スポーツも語学もパソコンも学び続けてこそ上達する様に、み言に聴き続けることは信仰の成長にとってほんのなにか大事でしょうか。そしてその為には教会や諸施設に派遣される教職者と社会福祉専門職者の育成はまたどんなにか大切な業でしょう。

教会は人の体に例えられる一つの有機体で、互いが仕え合うことによりキリストの教えは成就するとも教えられています。ですから教会に連なる私達はキリストの愛に応答する為に、各々の働きによってキリストの教えに従ってゆかねばなりません。パウロはイザヤ書の言葉を引用しながら「なんと美しいことか、良い知らせを伝える者の足は」(ローマ十五)と述べています。このみ言に沿って平和な社会の実現の為に愛の奉仕に就くことを自らの使命の道として学ぶ神学生や、福祉や心理を学ぶ学生の方々の為に私達もまた奉仕で応えねばなりません。この「愛の共同体」へのお手伝いの為に学院から提示される御要望に聞き、私達に与えられている分に応じて仕えられる様にと願う胸中です。

## 地区世話人代表の退任



中村好子さん(丁知多教会員)は、2001年より東海教区の世話人代表として、長年にわたりルーテル学院大学と日本ルーテル神学校を支えてくださいました。が、残念ながら、昨年健康上の理由により退任されました。

担当地区の教会員に熱心に献金を呼びかけ、集められた献金をルーテル学院に送金したり、講壇奉仕が行われる教会に出かけて地区世話人会を開いたり、毎年、東京で行われる全国世話人代表会にも必ず出席してくださいました。お会いするたびに優しい笑顔で話しかけてくださり、会議でのポジティブな発言も印象に残っています。中村さんの今までのお働きに深く感謝いたします。(後援会事務局)

オンライン  
2022年度「一日神学校」  
主題:「心と福祉と魂と」

9月23日(金・祝)

2022年度  
募金目標額  
2,500万円